

## 令和3年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	要 旨	答弁者
6	9	植 松 健 一 議員		1 / 1
発 言 項 目		要 旨		答 弁 者
1	ゼロカーボンシティ に向けて	<p>令和2年10月26日に国会において菅総理大臣は所信表明の中で「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すこと」を宣言した。本市も本年1月13日に須藤市長が「ゼロカーボンシティ」への取組を宣言した。2050年まであと29年である。しかし実行に当たっては難題も多く容易なことではないとも感じる。今後見直しのある第2次環境基本計画や地球温暖化対策実行計画等により施策は具体的になってくると思われるが、まずはゼロカーボンシティ宣言にあたっての当局の考えを伺う。</p> <p>(1) 2050年までのロードマップはできているか。</p> <p>(2) 官民協働の下、市民の意識の醸成が必要不可欠と感じるがどのように考えているか。</p> <p>(3) 市民の協力は勿論、市内民間企業の協力も重要になってくると感じるが、コンセンサスはとれているか。</p> <p>(4) 市民を先導する意味で市が率先して事業を進めていかなければならないと感じるがどのように考えているか。</p> <p>(5) 第5次富士宮市地球温暖化対策実行計画の事務事業において温室効果ガス排出量が清掃センターに次いで多いのが市立病院である。市立病院の排出する温室効果ガス(CO<sub>2</sub>換算)は何か。また削減についての方策はあるか。</p> <p>(6) 国のグリーン成長戦略の中の目標年次が近いものとして「30年代半ばまでに新車販売を電動車にする」としている。第5次富士宮市地球温暖化対策実行計画によると公用車のCO<sub>2</sub>排出量を燃料使用量の削減により30年までに基準年度の13年度比で16%削減するとしている。今後公用車の電氣化についてはどのように考えているか。</p>		市 長 副 市 長 関 係 部 長
2	富士宮市の顔について	<p>富士宮市の顔とはまさしく当市のイメージである。既にある「富士宮市＝富士宮やきそば」というイメージは全国的に定着し自他ともに認めるところである。しかしこれから当市をさらにシティセールスしていくためには戦略に伴う別の顔、はっきりと思い浮かべられるイメージとその意識付けが必要と考えるが当局の考えを伺う。</p> <p>(1) 市外の方が当市をイメージし、思い浮かべるものは何と考えるか。</p> <p>(2) 類似、近隣他市町との差別化のため、他にない分かりやすい代表的な顔が必要と考えるがその顔には何がふさわしいと考えるか。</p> <p>(3) 戦略的な部分からも当市の売りを絞り、官民で共通の認識の下、積極的に発信しイメージを作っていくことが必要と考えるがいかがか。</p> <p>(4) 来訪者のほとんどは自動車を使って市内に入ってくるが、その過程で市境を認識し当市を意識することはあまりないようである。来訪者に他市とは違う富士宮市の印象をはっきりと持ってもらうために、幹線道路の市境に看板もしくは標識等を設置したらどうか。</p> <p>(5) 朝霧高原域をはじめ、景勝地域についても看板もしくは標識等を設置したらどうか。</p> <p>(6) 市の玄関口でもあるJR富士宮駅で、市のPRにペDESTリアンデッキの活用を提案するがいかがか。</p>		市 長 副 市 長 関 係 部 長